



你好!

夏休みに入りました。皆さんが通信を見るのは夏休み明けですね。きっと、楽しい思い出がいっぱいできることでしょう。日本がとても暑い様子をニュースで見ました。皆さんが、元気に夏を過ごせますように…と願っています。

第4号は、「天津の伝統文化」について紹介します。

今回は○×では
ないです。
当てられるかな?

まるまる
○○クイズ!?

この人形は、○○で作られています。

さて、○○とは…何でしょう??



正解は、「泥（どろ）」です!

昔のまずしい農民が生活のために、身の回りで取れる泥を固めて人形を作り、人形と食べ物を交換したのがはじまりと言われています。(占いで使われたのがはじまりという話もあります。) 泥人形で有名なところは、中国で2か所あります。天津と江蘇省(こうそしょう)です。

天津の「泥人張(どろにんちょう)」は、本物の人間そっくりに作られていて顔の表情もよくわかります。江蘇省の「恵山泥人形(けいざんどろにんぎょう)」は、かわいらしい形で、子供の人形が多いです。

天津の「泥人張(どろにんちょう)」は、今から160年ほど前から作られているそうです。泥人形を作るのには、約3か月ぐらいかかるそうです。

「泥人形」作りの体験学習

7月6日の総合的な学習の時間に、3年生で「泥人形」作りの体験をしました。中国で有名な京劇(きょうげき)で使われるお面のデザインをもとに、泥でできたお面(下の写真)に、一人一人思い思いに色を塗りました。



教えてくださいました先生です。

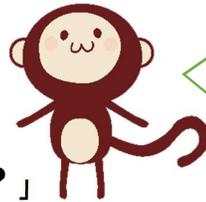
みんな集中して色をぬっています。→できた作品です。↓



この日は、4年生～6年生もそれぞれ伝統文化を体験しました。また、紹介する機会があったらお伝えしますね！

Q&Aコーナー

★「先生は車を運転していますか？」



こちらの学校でも夏休みになりました。ほとんどの子ども達が日本へ帰ります。わたしは、帰れないのでいろいろな所へ探検してみようと思います。

いえ、運転していません。中国の道路は、とてもたくさん車が走っていて、そして速いです^^;。日本人の感覚では同じように運転できないと思います。日本人学校の先生達は、事故に合わないようにするため、車の運転や自転車に乗ることは禁止されています。



では、どうやって学校に行っているかというと、同じ所に住んでいる先生方でまとまってタクシーに乗って行きます。バスや電車もありますが、天津日本人学校は中心地より離れた地区にあり、バスや電車では行きにくいからです。

←こんなタクシーに乗って行きます。

運転席が左側で驚きました。車は、日本と逆で、右側通行なんですよ。

バイクもたくさん走っています。日本と違って電動バイクなので、音がほとんどしません。いきなり横をバイクが通り抜けていくのにもびっくりします。国が違うと、いろいろ違いがあるものだなあとつくづく感じます。

